

H27～29年度 在宅医療・介護連携推進事業スケジュール

2016/4/4

平成27年度に開始
平成28年度に検討開始

| | 事業内容 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 備考 |
|---|---|----|----|----|----|----|---|
| イ | 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 ○関係する職能・施設団体と行政が参画する協議会の設置 ○WGを設置し、諸課題の抽出、対応策検討を行う | ● | ● | | | | H27.2.23協議会を設立・総合企画WGの運営 各団体へのヒアリング(主な課題の抽出) WG設置の企画、運営(残り3項目) |
| ク | 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携 ○1市4町共同で東部医師会へ事業を委託(H27.4～) ○東部医師会と行政の職員が共同で事務執行する 「在宅医療介護連携推進室」を東部医師会内に設置 | | ● | | | | 4町での取組みの現状・課題をヒアリング 行政WGの設置・運営 |
| ア | 地域の医療・介護の資源の把握 ○地域資源の詳細な把握(調査)とマッピング | | ● | → | | | 行政からの事業所情報の収集 調査結果の冊子作成・配布(事業所向け) 地域資源WG Web化の検討、情報の更新作業 |
| カ | 医療・介護関係者の研修 ○関連する研修会情報の発信・周知 ○職種ごとの研修プログラムの作成、教育者の養成 ○多職種による研修会の検討 | ● | | | | | 在宅事例検討会の開催(年4回開催) 多職種研修企画・実施(小地域での実施・研修資料作成) 地域ケア介護との連携策の検討 |
| キ | 地域住民への普及啓発 ○住民啓発用のパンフ等の作成、公表 ○住民向けの講演会開催の検討 | | ● | | | | 住民用パンフレット作成(保健分野や社協との連携強化) 小地域での在宅医療座談会の開催 地域の民生委員、健康づくり推進員等との連携 |
| ウ | 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 ○必要量の把握と圏域内での提供体制の検討 ○副主治医制の導入検討 ○急変時の後方支援病院の体制構築、消防署との連携 | | | ● | | | ア 資源の把握後に検討を開始(H28～) 地域医療ビジョンによる病棟再編等に注視 現状での取組み事例の紹介(在宅診療・病院) 不足資源(訪問看護等)の検討(行政WGとも連携の必要あり) |
| オ | 在宅医療・介護連携に関する相談支援 ○在宅医療に関する、関係者(施設・包括)からの相談受付 ○在宅医療コーディネーター機能(医・訪看・薬・リハ等) ○かかりつけ医の地域連携室の機能 | | | → | ● | | 相談員(MSW)の配置(H29以降)H29は予算化する 遅くともH30.4には配置が必要 ※他地域の先進事例・相談内容等の調査開始(WGの設置の要否) 基本的には、事業者・関係者からの相談(住民は包括へ) |
| エ | 医療・介護関係者の情報共有の支援 ○効率良いサービスが展開できるよう、在宅系サービス間の 情報共有の仕組み(IT化含む)を検討 | | | → | ● | | ウ の検討の中で必要な情報を見極める IT化や情報端末を利用した仕組みの構築 ランニングコストを考慮し、慎重に検討する |

継続

検討から実施へ

検討から実施へ

研究の開始

検討を開始